

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	おたる屋台村レンガ横丁
所在地	北海道小樽市稲穂 1-4-15

【推薦する理由（路地のよいところ）】

小樽の中心部にかつての賑わいを取り戻したいという思いと小樽の食文化の発信を目指すべく、地元 7 人の経営者が、帯広や八戸の屋台をモデルにオープンした 14 の店が並ぶ屋台村です。寿司をはじめとした小樽の味を手軽な料金でゆっくり味わえ、市民が気軽に足を運べて、地元の人間にとって憩いの場となることを目指しました。ここでしか味わえない料理を目当てに、札幌など近郊の市町村から訪れる人も多いのです。地産地消はもちろん、アットホームな雰囲気でもオリジナルメニューを揃えた 14 店が集まっています。また屋台村の奥、レンガ広場にある稲成神社は、2005 年のレンガ横丁の火災で一時休業をし、際スタートを切る際に建てられたもので「屋台村をにぎわせて、地元を元気にしたい」という店主たちの思いが込められています。

【写真添付】



上：夜のサンモール側の入口



上：レンガ倉庫横の入口



上：レンガ横丁の正面



右：レンガ広場の稲成神社



右：レンガ広場と路地

路地	面積	約 h a	路地の延長	約 50 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	屋台村「レンガ横丁」は、2004(平成 16)年 7 月に、日銀通りからサンモール一番街に入った左側を入口にし、レンガ倉庫横の空き地約 400 平米に、「小樽の中心部にかつての賑わいを取り戻したい」という思いと小樽の食文化の発信地を目指し誕生した。1 年目には火災が発生し、7 軒を全焼、2 軒を半焼させる被害にあった。 2005 年 6 月末の火災で休業していた「おたる屋台村レンガ横丁」は 7 月 27 日、1 カ月ぶりに営業を再開した。並びにある丸井今井小樽店の撤退という逆風を受けながらも地道に営業を続けている。現在は、14 軒の屋台が営業中である。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。